



平成 30 年 4 月 25 日

東京藝術大学は、世界最高峰のオーケストラの一つ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団員の養成を目的とした「ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー」と人材育成に係る協定（特別選抜制度）を締結しました。この人材育成に係る大学との連携協定は世界初の試みです。

平成 30 年 4 月 23 日、東京藝術大学は、音楽分野における世界トップアーティストの戦略的育成を目的として、1972 年にヘルベルト・フォン・カラヤンにより設立され、世界最高峰のオーケストラの一つ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団員の養成を目的とした「ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー」と人材育成に係る協定（特別選抜制度）を在ドイツ日本大使館で締結いたしました。

この「ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー」と人材育成に係る大学との連携協定は世界初となる試みです。

これらの取組は、文部科学省「国立大学機能強化事業」を踏まえた本学の機能強化の一環として実施するものですが、特に音楽分野では、国際舞台で活躍する傑出した音楽家育成を実現するため、平成 27 年度より全国各地の子ども達を対象とした「早期教育プロジェクト（E E P : Early Education Project）」を実施するとともに、「中学生対象の早期英才プログラム（東京藝大ジュニア・アカデミー）」や高校 2 年生からの「飛び入学」試験を起点とした「スペシャルソリストプログラム（S S P : Special Soloist Program）」を計画的に展開しているところであり、この度の「ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー」との協定締結により、世界トップアーティストの戦略的育成に向けた一貫型人材育成プログラムが構築されました。

また、ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーに係る授業料全額及び渡航費の一部は、本趣旨にご賛同頂きました宗次徳二様（カレーハウス CoCo 壱番屋創業者、NPO 法人イエロー・エンジェル理事長）からのご寄附により支援いたします。

記



TOKYO GEIDAI

<調印式>



Photo:Yoko Tsunekawa

日 時：平成 30 年 4 月 23 日（月）18 時 20 分～18 時 45 分
場 所：在ドイツ日本国大使館（Hiroshimstraße 6, 10785 Berlin, ドイツ）

【写真右】：澤 和樹（東京藝術大学長）

【写真左】：ペーター・リーゲルバウア

（ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー代表）

《澤和樹：本学学長のコメント》

この度、ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーと東京藝術大学の連携協定が締結されました。私自身、ヴァイオリニストでもありますので、格別な喜びを感じております。

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団は申し上げるまでもなく、現代最高のオーケストラです。ベルリン・フィルの創立は 1882 年、そして東京藝術大学音楽学部の前



TOKYO GEIDAI

身である東京音楽学校の創立は1887年でした。ベルリン・フィルの5年後で、ほぼ同時期の創立ということになります。もちろん、長いヨーロッパのクラシック音楽の伝統の中のエリート集団であるベルリン・フィルと、西洋音楽については生まれたての赤ん坊のような当時の東京音楽学校の誕生を同等に語ることは全くナンセンスですが、私たちにとって、ベルリン・フィルは、常に究極の理想像として、その背中を追い続けて来た存在でした。

1959年に、東京藝大の卒業生であるヴィオラの土屋邦雄さんが日本人として初めてベルリン・フィルに入団され、その後、安永 徹さんがコンサートマスターに就任され、現在の檜本大進さんや清水直子さん、町田琴和さんらに至る日本人奏者の水準の高さが立証され、また近年では、ベルリン・フィルの多くのメンバーが東京藝大に招聘教授や卓越教授として頻繁に訪れ、マスタークラス実施や、教員、学生たちとの室内楽やオーケストラでの共演を通じて信頼関係が生まれ、大変レベルが高く、競争率の高いカラヤン・アカデミーのヴァイオリン部門に、1名の藝大卒を設けるという今回の協定につながったものと理解しております。

東京藝大では、最近の若者の音楽離れ、芸術離れに強い危機感を覚え、これまでの大学と附属高校だけで行ってきた教育・研究だけでなく、大学の教員が直接、地方の才能ある小中学生を指導する早期教育プロジェクトやジュニアアカデミーの設立、また、飛び入学制度のスペシャルソリストプログラム、そして大学卒業後の留学やキャリアの支援というように、継続して人材を育成することにエネルギーを注いでいるところですが、今回のベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーとの連携協定は、在学生、あるいはこれから音楽家を目指そうとする、さらに若い世代に夢を与えるという意味でも大変大きな意味を持つと考えております。

ここにご臨席のカラヤン・アカデミー代表のペーター・リーゲルバウア氏と、松下副学長が、ベルリン芸術大学時代からの40年近い親交を温めていたことも、この連携協定実現には不可欠のことであり、また、宗次徳二海外留学支援奨学金の存在がなければ、やはり実現は困難であったと思われまふ。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、本日、このような素晴らしい記者会見の場を提供していただきました八木大使はじめ、在ドイツ日本大使館の皆様にも心より御礼申し上げます。

《ペーター・リーゲルバウア：ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー

代表のコメント》

日本とベルリン・フィルとは長い歴史があり、特別な関係にあります。

ベルリン・フィルは、1950年代に既にカラヤンの指揮で日本公演が行われ、その後、毎年のように日本公演を行っています。

今回、この様な取組から、東京藝術大学と人材育成に係る協定を締結することが出来ることは非常に嬉しく、更に、日本とドイツの親密な輪が広がったかと思えます。

日本とベルリン・フィルとの特別な関係を考えて時、両国の親密な深さから成り立っており、ベルリン・フィルのオーケストラや室内楽では日本人が団員として参加しており、度々の日本公演と併せて、最もこの様な親密な関係を築いているのは日本と思っております。

私達は、今、若い演奏家と一緒に演奏が出来る喜びを感じています。このため、ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーでは、世界に向けて公募を行っており、先日のオーディションでも日本人を含め世界から多数の志願者が集まりました。

これまでの実績から、東京藝大は素晴らしい才能をもった若い演奏家を輩出していますので、今後、両機関が正式なシステムのなか、長期間にわたり、次世代の音楽家を育成するために本協定を締結することといたしました。

私の将来の夢は、このプロジェクトにより入学したアカデミー生がベルリン・フィルハーモニー管弦楽団員になることであり、7月3日、東京藝大で行われるオーディションで素晴らしい才能をもった若い演奏家が集まるか、凄く楽しみです。

東京藝大は、ベルリン芸術大学とも協定を締結しており、また、ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーと協定を締結することは、両国にとっても特別なことかと思えますし、その協定締結が在ドイツ日本国大使館で行われるのは、非常に嬉しい限りです。

この日を迎えることを非常に嬉しく思いますし、ご尽力いただきました澤学長、松下副学長に感謝を申し上げますとともに、末永く、この協定に基づき次世代の音楽家を輩出することを祈願しています。

<特別選抜実施要項>

1 募集分野・人員

ヴァイオリン分野・1名

2 出願資格

本学音楽学部を卒業し、平成30年9月1日現在、満27歳以下の者、かつ、本学音楽学部長の推薦を受けた者

3 選抜方法

実技試験（ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団員が審査員）

4 試験日程・試験会場

日時：平成30年7月3日（火）

場所：東京藝術大学

5 その他

- ・留学期間は、2年間。
- ・授業料等は東京藝術大学「宗次徳二様海外留学支援奨学金」で支援。

<スケジュール>

平成30年4月23日 協定書の締結

平成30年5月初旬 音楽学部内で選考

平成30年7月3日 実技試験

平成30年8月下旬 ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミーへ派遣



TOKYO GEIDAI

<参考>

<ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー>

1972年、ヘルベルト・フォン・カラヤンは、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団員の養成や次世代の音楽家育成のためドイツ初のアカデミー機関である「ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー」※を設立した。

今日の「ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー」は、世界中から才能のある若手芸術家が集まり、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターや首席奏者が指導に当たっている。

多くのアカデミー修了生は、世界的に有名なオーケストラ団員のポジションを獲得しており、現在のベルリン・フィルハーモニー団員の3分の1は、アカデミー出身者となっている。

※ 2017年5月24日 「ベルリン・フィルハーモニー・アカデミー」を「ベルリン・フィルハーモニー・カラヤン・アカデミー」に名称変更

<東京藝術大学>

東京藝術大学は、昭和24年5月、その前身である東京美術学校、東京音楽学校を母体とし、「広く芸術に関する知識を授けるとともに、深く芸術の技能、理論及び応用の教授並びに研究」を目的に設置された。

当初は美術学部（絵画科・彫刻科・工芸科・建築科・芸術学科）と音楽学部（作曲科・声楽科・器楽科・指揮科・楽理科）の2学部10学科でスタートし、その後、大学院修士課程・博士後期課程の設置、学部・研究科及び学内共同教育研究施設等の改組・再編等を行い、平成16年4月には国立大学法人東京藝術大学が設置する大学となり、現在では2学部4研究科7学内共同教育研究施設等を有する。芸術に係る教育研究分野とその前身である東京美術学校・東京音楽学校の創立から数えて130年の歴史と伝統を有する我が国唯一の国立総合芸術大学となっている。

<問合せ先>

東京藝術大学 社会連携課 神永

電話 050-5525-2051

E-mail development@ml.geidai.ac.jp